

営農をもっと安心・安全に！「S-CATCH」による獣害・盗難対策の革新

年間188億円にのぼる鳥獣被害



2024年被害額
前年比**24億円増**



シカ（**79億円**）と
イノシシ（**45億円**）が
被害の**6割**を占める

2025年の農作物盗難は2,188件



畑や果樹園での
被害が**8割**



検挙率は**4割**程度。泣
き寝入りせざるを得ない
ケースも少なくない

既存の監視カメラ・センサーの限界



草木の揺れや小動物による
大量の誤検知

物理的な対策のコストと手間の壁



電気柵は高コスト、パトロール
は人的負担が大

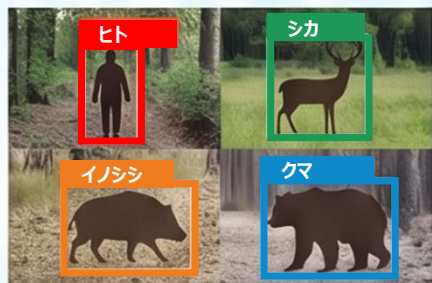
インフラのない広大な農地の管理



電源や通信環境がない場所
では対策が限られる

独自AI技術「S-CATCH」による次世代の解決策

独自の高精度AIマルチ解析



動体検知と種別判定（ヒト、シカ、
イノシシ、クマ等）を組み合わせ、
誤検知を大幅に削減します。

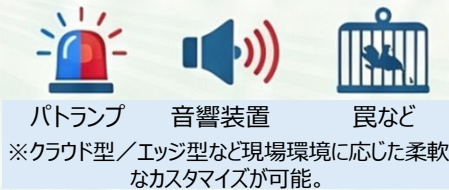
S-CATCHは、災害時の人命救助やインフラ点検
の安全対策から生まれた信頼性の高い技術です。



検知～即時通知～アクション



現場ニーズに合わせたカスタマイズ



導入によって期待される4つの効果



被害の最小化 経済的損失の軽減

高精度な検知と即時対応
で被害発生を回避。



管理負担の 劇的な軽減

誤検知削減により、パト
ロールや確認作業を軽減。



安心感の醸成 精神的負担の緩和

農業者の心理的ストレスを
大幅に軽減。



既存設備の 有効活用

コストを抑えたソフト対策の
強化も実現可能。

技術相談やお見積りなど、お気軽にお問合せください。



株式会社
エイト日本技術開発



FUNNOVATE LAB

株式会社ストロベリーファーム

